

Governor's Monthly Communication



人類に奉仕する
ロータリー

2016-17年度
国際ロータリーテーマ

2016-17年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

2016-17年度
地区ガバナー
庄司 尚史



CONTENTS

- ① 地区ガバナーメッセージ
- ③ 地区ガバナーエレクト
メッセージ
- ④ 地区担当委員会委員長挨拶
- ⑦ コーディネーターニュース
- ⑧ 2017-18 年度
長期青少年交換学生募集



韓国ソウル
国際大会に参加して

庄司 尚史

2016-17年度 第2690地区ガバナー
Naofumi Shoji

主要7カ国首脳会議・伊勢志摩サミットが「G7 伊勢志摩首脳宣言」を採択し、オバマ米国大統領が広島を訪問した翌日、岡山空港の朝は、ロータリアンで埋め尽くされていました。10:00発 KE748 大韓航空機は、まるで2690地区の専用機の様相でした。佐藤ガバナーはじめ延原パストガバナー、橋本パストガバナー、鳥居パストガバナーの重鎮の皆様の姿もありました。国際ロータリーソウル国際大会に出席の皆さんです。

1時間30分のフライトで定刻に到着した仁川空港は晴天で我々を迎えてくれました。私自身5年ぶりのソウルですが、一段と大都会になった印象を受けました。

その日の夜は、佐藤ガバナー主催の地区ナイト(前夜祭)に境港RCのメンバー12名で出向きました。



延原PGのご挨拶によれば、過去にこれだけの参加があった地区ナイトは初めてのようです。前出のPGに加え森本PGご夫妻、松本PGご夫妻、ガバナー補佐、次期ガバナー補佐の皆さん数名も参加され、約100名のにぎやかな会になりました。

翌日の国際大会開会式は、ソウル市内からバスで



1時間離れた国際コンベンション「キンテックス」で
ありました。駐車場はバスが数珠つながりになり、
広大な敷地に2棟の巨大な建物で構成される「キン
テックス」はロータリアンであふれていました。

登録は4万人を超え開会式は午前・午後と2回に
分けての開会です。海外のロータリーは午前、韓国
のロータリーは午後だったようです。

オープニングは韓国の女性集団による太鼓演奏、
引き続いて数十人によるビートのきいた音楽に乗っ
て、テコンドーをベースとしたダンスと演武、躍進す
る韓国を印象付けます。オープニングの後のラビン
ドランRI会長のスピーチに、ホログラムでポール・ハ
リスが登場する演出は驚きましたし、世界100か国
以上の国旗入場は圧巻でした。知らない国も多いの
ですが、その国にロータリーが存在するということに
驚きます。アジア開催ということもあり、アジアの国
旗入場の際の拍手、歓声は目立って大きなものがあ
りました。各国のそれぞれの地域が、ロータリーを通
して世界とつながっていることを実感します。

来賓のあいさつに、国連事務総長・潘基文氏が登
場するというサプライズがあり、韓国の首相の歓迎
あいさつ、スリランカの首相のあいさつが続きました
が、皆さんポリオのことを取り上げていました。「友愛

の家」に足を延ばしましたが、こ
ちらも数えきれないブースの出
店があり、圧倒されました。1日
いても退屈しなかったかもしれ
ません。私の務めであった各ク
ラブから預かった信任状を届け
て早々と後にしたのは、少々後
ろ髪を引かれる思いでした。

今回日程が十分に取れな
かったのは残念でしたが、境港
RCの仲間と一緒にソウル市内
を観光し、歴史と文化に触れ、貴
重な時間を過ごすことができま

した。近くて遠い国韓国という印象がありますが、
特に境港は日本海を挟んで空路、海路ともに定期便
で結ばれています。もっともっと近い国にしたいもの
です。

さて来年は米国アトランタでの開催です。ロータ
リー財団100周年を祝う大会になります。国際大会
はロータリーのダイナミクスを知る良い機会です。各
クラブでツアーを組んで親睦を深める機会にしませ
んか？ ご一緒に参加しましょう。





会員増強—退会防止と新会員勧誘は車の両輪

地区ガバナーエレクト

池上 正 (倉敷南RC)



クラブの根幹は会員です。クラブの活動を十分に行うためには必要な会員が在席していることが望ましいのです。

年々歳々クラブ会員は入会・退会があり定常的に会員が入れ替わっております。会員増強のためには退会防止と新会員の勧誘が車の両輪です。国際ロータリーは約120万人の会員を擁していますがほぼ横ばいの状態が続いております。日本の会員数もここ10年ほどは足踏み状態です。当2690地区は3,000名のレベルを保っていますが、油断は禁物です。地区ガバナーは会員増強を最重点目標として掲げ地区の会員増強を図ってきました。

去る4月に行われました会員基盤向上セミナーでは会員増強の課題が多面的に論じられました。ロン・バートン2013-2014年度RI会長は一度退会し再入会しています。退会の理由は、「忙しかった、プログラムが楽しくなかった、何もすることがなかった、食事が不味かった」ということでした。RIでは年間16万人が退会しているが60%はバートン元RI会長と同じ理由だそうです。会員はみんな組織のトップですから誰もが忙しいわけですが、クラブに魅力があれば退会はしないでしょう。退会防止にはこのような点に配慮することが必要と思います。会員の退会を防止することは有効ですが、クラブの置かれている環境によって転勤など不可抗力の状況もあります。そのような場合は後任を確実に会員になってもらうことです。

退会防止に力を注ぐことは勿論ですが、とにかく新会員の勧誘を強力に進めることです。前述のセミナーではロータリーの戦略計画を多年度計画として策定し実施することが報告され事例が紹介されました。戦略計画の重要なものの一つはもちろん会員増強です。会長、会長経験者、次期会長などが委員会を作り実践していくというものです。私は特に会長が「要」と思います。会員増強委員会に任せるのではなく、会長が中心になって率先垂範することです。

大幅な会員増強に成功している好例がロータリーの友に紹介されています。2015年9月号に掲載されている高崎ロータリークラブです。会長自らが陣頭指揮を執り64名から101名の増強に成功しました。会員の平均年齢が50歳代となり若さとエネルギーあふれるクラブに変革したと言うことです。この時の田中会長は2017-18年度のガバナーを務めることになっており、私と同期のガバナーというわけで大いに触発を受けそうであります。

会員増強の可能性の一つは女性会員です。女性会員の比率は2015-16年度RIでは21%、日本では5.7%、当地区は2016年4月末で3,132名中163名と5.2%です。クラブによって開きが大きく0%から30%です。女性会員はこの一年間でまったく増えておりません。K.R.ラビンドランRI会長も力説していますが、RIは女性会員を増やすよう要請を続けてきました。しかし日本の場合なかなか事情がいろいろあるようで進んでいません。手続要覧には性別によって会員身分を制約してはならないとあります。日本最大のロータリークラブで昨年女性がようやく入会しました。何かきっかけがあったと聞いておりますが、女性会員ゼロのクラブもそのようなことが起こります。

会員増強は日本のロータリーにとって極めて重要なのはゾーン数と理事の人数です。

ロータリーはアメリカが中心ですから3ゾーンを持つことによって日本から常に理事を送り、発言の権利を確保する必要があるのです。

地区担当委員長挨拶



会員増強・会員選考・
職業分類委員会委員長

酒井 英

8月は会員増強、拡大月間と申しますが最重要課題での会員増強は1年全てが強化月間であり全会員が増強委員でもあります。全員の力を結集すればおのずと良い結果が得られると思います。人口減少にともない争奪競争が激化する中での増強は困難ですが、Iターン、Uターンの企業経営者 若者経営者は案外勧誘を待っている場合が経験上ある様に思います。ロータリーを外からみれば非常に敷居の高い団体に映っている様です。大人の楽しいサロンであることを気長に訴え増強に努めましょう。



地区雑誌・広報委員会委員長

松井 尚成

我が委員会は、ロータリーを一般市民に広め、ロータリーのプログラムへの理解、評価、支援を推進して行く事が大きな使命であります。それらの事をロータリアンの皆様に広く認識して頂くために、ロータリーの友を始めとする様々な媒体を駆使してロータリーの正しい姿を知って頂く事を大きな目標としております。これらの事を踏まえ、来たる8月7日に米子の地に於きまして「地区雑誌・広報委員会」、「クラブ雑誌・広報委員長会議」を開催する予定です。講師として、二神典子ロータリーの友編集長を御招きしまして、「ロータリーの公共イメージ向上とロータリーの友」の講演を頂く予定です。どうぞ皆様ご期待ください。



職業奉仕委員会委員長

木村 正明

ロータリー活動の中でも、「職業奉仕委員会」は他の奉仕団体とは違う、ロータリークラブならではの委員会だとよく言われています。しかしながら「職業を通じて社会に奉仕する」と言うテーマは、クラブとしての日常のロータリー活動の中では、具体的にその方策や事業の場面では分かりにくいことがままあるように思われます。

各クラブでの取り組み、考え方などをお伺いしながら、現場と理論との整合性も含め、職業奉仕と言う考え方の意見を交わしてその辺りも整理できたらと考えています。また各クラブの委員長様とも交流を深めたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。



社会奉仕・RCC委員会委員長

渡邊 将利

先般行われました部門別協議会に於いて、各委員長予定者の皆様から様々な奉仕活動の報告がありました。

少ない時間の中、それぞれの地域のニーズに合った立派な活動報告でありました。また、カウンセラーの方々は、十分な時間がなく大変申し訳なく思っております。

報告の中で感じましたことは、地区資金の活用、あるいはロータリー地域社会共同隊(RCC)の発足などは未だ少なく、今後の課題かと思われます。特に、RCCの組織化は次の奉仕活動に進むうえで重要なことと思われます。

社会奉仕活動は、全会員とその地域の人々の理解と協力があってこそ実を結ぶと思います。会員の皆様には一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



国際奉仕委員会委員長

井田 征二郎

国際奉仕は、他国の人々を助けることを目的としたクラブの活動に協力することです。会員が他国の人々とその国の文化や願いを認識することで、国際平和を推進することができます。ポリオプラスの貢献や、青少年交換留学生の支援活動がこれに当たります。

確かに難しい奉仕部門ではありますが、国際奉仕は概念上四つの分野に分類できます。

世界社会奉仕プログラム・国際的な教育及び文化交流活動・特別月間の催し・国際的な会合への出席です。少人数のクラブは他のクラブ又は海外地域社会の団体と共同、協力し合って親睦や親善を培いながら奉仕の目標を達成することが出来ます。

皆様のクラブにおかれましては、より活発な国際奉仕活動を実践していただけますようお願い申し上げます。



米山記念奨学会委員会委員長

都田 修史

この奨学金は日本で初めてのロータリークラブを創立し、学校を創設するなど様々な社会貢献活動を行った米山梅吉氏の功績を称え、その精神を後世に受け継ぐ事業として東京ロータリークラブから始まりました。海外から優秀な留学生を日本に招き、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために国際親善と世界平和に寄与したいという当時のロータリアンの願いからです。

今年度は27名の奨学生を、新規として23名の新規の奨学生として受け入れる予定です。世話クラブ・カウンセラーの方々だけでなく、会員の皆様も多大な負担はかかることと思いますが、将来日本と彼らの母国を結ぶ架け橋になってくれることと思いますので、ご理解とご協力をお願いします。

地区担当委員長挨拶



青少年交換委員会委員長

小土井 秀明

青少年交換プログラムは、1920年代にヨーロッパでロータリアンの子供同士を交換し、互いにホームステイさせあい、我が子のように育ててみようという試みに端を発しています。子どもたちは異国という厳しい環境の中、好意に溢れたロータリアンの庇護のもとで、異文化にふれあい、生活することで互いの立場や違いを認め、尊重する真の国際人として成長していきます。そしてこのプログラムは、次世代の青少年の育成という有意義な奉仕活動として認められ、1972年にRIの定める正式プログラムとなりました。

近年、世界中で年間8,000人の16歳から18歳の高校生が参加しています。こうしたプログラムの成り立ちから、青少年交換プログラムのみ、ロータリアンの子弟参加が認められています。また、ロータリアンの子弟のみならず、関係者の子弟、または来日学生達がお世話になった高等学校からの推薦などにより応募できます。



青少年奉仕委員会委員長

渡辺 昇

若者が次代の社会を担い、その健やかな成長が国社会の発展の基礎をなすものであることは、誰もが理解していることです。R.Y.L.A. (Rotary Youth Leadership Award) (ロータリー青少年指導者養成プログラム)は、若い人々とロータリアンを参加させる地区プロジェクトであり、若い人の指導力と善良な市民精神という資質を伸ばすことを目的として、才能と熱意を呼び起こし奉仕と責任感を育てるためのプログラムです。今年度も、参加者が自分達の地域社会に奉仕する為の、関連した技術、知識あるいは人間関係等を限られた時間の中で学ぶための活動を行いたいと思います。皆様のご協力とご参加をお待ちしております。



インターアクト委員会委員長

古杉 淳

インターアクトとは、12歳から18歳までの主に中高校生のためのロータリー提唱の奉仕クラブで、楽しく意義のある奉仕プロジェクトに参加する機会を青少年に与えるものです。当地区では現在17のインターアクトクラブが活動しています。インターアクトは奉仕活動を通じて次の事柄の重要性を学びます。

1. 指導力と優れた人格の形成。
2. 他者を尊敬し、進んで助ける態度。
3. 各自の責任を果たすことや、一生懸命努力することの価値の理解。
4. 国際理解と親善の推進。

今年度は島根県出雲市でIA地区大会を開催いたします。各地のインターアクトが一同に集まり、交流を深め活発に意見交換を行います。インターアクトの発展のためロータリアン皆様のご支援ご指導の程宜しく願いいたします。



ローターアクト委員会委員長

服島 龍男

本年度ローターアクト委員長を務めさせていただきます服島龍男と申します。宜しくお願い申し上げます。

私自身20年前まで米子ローターアクトクラブに所属し活動をさせて頂いておりました。当時はクラブ数が13クラブありましたが、現在は7クラブまで減少し会員数も同様に減少し、存続の危機を感じながら関わらせて頂いているところですが本年も7クラブにてスタート致します。

本年の取組みとして現在活動しているクラブをより地区内ロータリーへの交流と地区へも提唱ロータリーへも今まで以上に関心を持って頂けるように活動PRを充実させ、また将来のロータリアンとしての育成に繋がって行けるよう取り組んで参りたいと思います。

引き続き皆様のご支援ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



地区ロータリー財団運営委員会委員長

伊藤 文利

本年度は創立100周年を迎えるロータリー財団と全世界のロータリアンにとって共に喜びの年であろう。最初26.5ドルの寄付から始まった基金は今や10億ドルを超える額で、隔世の感あり。この間、我々の先輩たちが奉仕の理想を求めて地域に世界に良いことを実施し、人々の幸福と平和構築に貢献して来た歴史を強く誇りに思う。さて、次なる100周年に向け新たな第一歩を踏み出した我々に課せられる宿題は何か問われると次のように答えたい。

1. 今まで以上に地域、世界に良い事を継続実行しよう。
2. 今まで以上に資金推進(寄付)を押し進めよう。
3. 財団は自分達の物だと身近に感じ、もっと利用しよう。
4. 奉仕プロジェクトを通してロータリーを世間に知って貰おう。
5. 財団を通じて会員増強に繋げよう。



地区補助金小委員会委員長

小林 哲

今年度地区補助金小委員会委員長を務めます小林哲です。よろしくお願い申し上げます。「地区で良いことをしよう」のスローガンのもと今まで多くの補助金プロジェクトが地区内で実施されてきました。各クラブの皆様には大変感謝しています。地区補助金プロジェクトを実施することは地域におけるロータリークラブの公共イメージの増進に大いに役立ちます。クラブ内においてもメンバーのクラブ在籍に対する満足度を高めメンバー同士の連帯感を強固にして退会防止に大いに貢献します。今後とも多くのクラブがこの制度を利用し財団の目的に合致し地域のニーズを的確にとらえた有意義なプロジェクトを企画、立案して正しく実施して頂きたいと思っています。補助金小委員会は微力ではありますがそのお手伝いをさせていただきたく思っています。多くのクラブの積極的な参加をお待ちしています。

地区担当委員長挨拶



地区学友委員会委員長

柏木 晴夫

昨年度より学友の定義がすべてのロータリープログラム参加者へと対象が拡大されました。そして、学友小委員会から地区学友委員会と生まれ変わりました。ロータリー活動に参加経験のある学友は、ロータリーにとっても有力な入会候補者となるだけでなく、ロータリー活動や奉仕プログラムをサポートとし広報できる人材です。これからも学友との関係を構築・維持、また学友に関する事柄についてクラブを支援します。

また、グローバル補助金や地区補助金による地区奨学生派遣事業では、ロータリーの世界理解と平和を推進するという使命を遂行する優秀な人材を、専門学力・語学力・ロータリーへの理解などの基準により選考します。



資金推進(ファンド・レイジング)小委員会委員長

八木橋 柳一

資金推進小委員会とは、地区の募金戦略を監督しクラブが年次基金と恒久基金の寄付目標を設定するのを援助するとあります。

庄司尚史地区ガバナーの地区目標であるポリオ撲滅に協力(ポリオプラスへの寄付)、ロータリー財団への支援(年次基金への寄付・ロータリーカードの普及)、米山奨学会への支援(普通寄付・特別寄付)財団100周年記念のチャリティーイベントの開催等、寄付の推進をはかりたいと思います。

寄付金の地区目標達成のために各クラブの会員の皆様方のご理解とご支援のほど宜しくお願い致します。



ポリオプラス小委員会委員長

細田 淑人

1985年国際ロータリーはポリオプラスプログラムを発表、1988年各国政府、WHO、RI、米国疾病予防管理センター(CDC)、国連児童基金(UNICEF)が主導し、ビル&メリンダ・ゲイツ財団を含む主要な関係機関の支援を受け、世界ポリオ撲滅イニシアチブ(GPEI)を開始。1988年には125か国以上の常在国・約35万人の患者がいました。現在は99%以上減少し、常在国は2か国です。2016年5月18日現在15例です。今年度はRI財団の100周年です。ポリオ発症最後の年度にするために『世界でもっと大きな「よいこと」の推進力となるために固い決意と熱意でポリオ撲滅を成し遂げ』というジェームス会長とともに、ポリオのない世界実現に向け行動しましょう。



職業研修チーム(VTT)小委員会委員長

中田 耕治

職業研修(VTT)とは職業を奉仕に生かすロータリー財団の専門家グループです。専門職業人のグループが海外に赴き、現地の専門職業人にスキルや知識を提供するものです。世界で行われているものとしては、医療支援や研修、教育に関する支援、水と衛生に関する支援が行われ、地区補助金やグローバル補助金を利用し実施するプログラムです。内容については2013年RIの「ロータリー入門、GLOBALOUTLOOK」やRIHPのマイロータリーからVTTの概要資料として検索することが出来ます。

庄司尚史地区ガバナーの方針のもと、VTT小委員会が充実したものとなるよう活動していきたいと思ひます。



地区財団資金管理小委員会委員長

渡邊 俊裕

当委員会は、他の関連小委員会と連携し、地区補助金の申請、支払い、報告のそれぞれの段階において、財務管理計画の作成、「地区の覚書(MOU)」の実施の援助。補助金管理セミナーの実施、クラブの参加資格認定の援助。資金管理の徹底と、モニタリング、評価。財務管理計画の年次財務評価を行い、その結果がクラブに通知されるようにする等、適切な補助金管理についてロータリアンに情報や研修を提供すること、所期の目的に沿って資金が使用されるよう監督することを課せられた委員会です。皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。



先月号の追記・訂正とお詫び

第2690地区委員会組織図 7月号(vol.1)に下記の誤りがありましたので訂正してお詫び申し上げます。

P4. 地区諮問委員会…………… 森 嵩生→森 嵩正
P4. 地区指名委員会…………… 森 嵩生→森 嵩正
P5. 青少年交換委員会 副委員長… 種田俊彦→和田一郎

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター NEWS

2016年7月号

発行: Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
今月号の担当 Zone 1 RC

第1ゾーンロータリーコーディネーター

酒井 正人

■新クラブ設立

- ・第2680地区(第3ゾーン)に西宮イブニングロータリークラブが3月7日に新クラブとして結成されました。
- ・第2830地区(第1ゾーン)に八戸中央西ロータリー衛星クラブが5月12日に会員12名で結成されました。



八戸中央西ロータリー衛星クラブの設立例会。5月19日鈴木ガバナーに襟章をつけてもらう工藤議長。

■クラブ合併

2016年4月30日付で第2690地区(第3ゾーン)の岡山ロータリークラブと牛窓ロータリークラブが合併しました。合併後は岡山ロータリークラブになります。事務所及び連絡先、例会情報は岡山RC従来の内容で変更ありません。RI加盟承認日も岡山RCの「1934年4月5日」を引き継ぎます。

■グランド「BOX」への投稿のお願い

RPICは昨年10月から①「奉仕プロジェクトを考えるヒントの提供」②「広報の仕方」に関する情報提供機能を構築しています。本年度も引き続きクラブや地区が実施した奉仕活動が新聞に掲載されましたら「BOX」への投稿をお願いします。詳しくは地区またはRPICにお尋ねください。

■2016-17年度地域別会員増強計画の概要(1、2、3ゾーン)

今年度の会員増強計画の概要として、7項目が成果測定の指標とされました。各地区、各クラブにおきましては目標達成のためご協力をお願いいたします。

- ・全地区が会員増強(入会・参加促進)委員長を任命する。
- ・地域内の30%のクラブが、ロータリークラブ・セントラルで少なくとも10の目標を設定し、達成状況を記録する。
- ・各地区で新しいロータリークラブを少なくとも1クラブ設立する。
- ・会員の男女比全地区を縮小するため、女性会員の比率を少なくとも2%増やす。
- ・会員の年齢層を広げるため、40歳未満の会員比率を少なくとも2%増やす。
- ・会員維持率を少なくとも1%増やす。
- ・各クラブで会員の50%がMy ROTARYに登録するよう奨励し、My ROTARYの登録者数を増やす。



募集要項

【実施要項】

留学先 アメリカ合衆国、カナダ
留学期間 2017年8月より1年間
人数 3名程度

【応募資格】

1. 2017年8月時点で、15歳から18歳未満の学生
 2. 異なる文化を受け入れることができ、新しいことに挑戦する意欲を備えていること
 3. 学校長の推薦があること
 4. 保護者の同意があること
 5. 地元ロータリークラブの推薦があること
- ※応募したい方は、お近くのロータリークラブ又はロータリークラブ会員にご相談を。

【応募期間】

2016年8月26日(金) 各ロータリークラブへの申込み期限

【お問合せ先】

国際ロータリー 第2690地区青少年交換委員会 電話 0859-44-2690
※詳しくは「国際ロータリー」→「青少年交換」で検索を

【応募方法】

応募願書に必要事項を記入して、地元のロータリークラブを通して、国際ロータリー第2690地区青少年交換委員会に提出。願書はホームページからダウンロード可。

【選考方法】

作文・英語の筆記試験及び面接試験(英会話を含む)
試験予定日は2016年11月5日(土)。後日通知。

【学生の費用負担】

渡航に際しての費用は、派遣学生側の負担。海外での生活費及び通学費は先方のロータリークラブが負担。
鳥取県、島根県、岡山県各教育委員会後援



国際ロータリー 第2690地区(鳥取・島根・岡山)

長期青少年交換学生募集



異文化交流を通じて、未知の自分の可能性を発見してみませんか。



■ロータリーとは

ロータリーは地域社会のボランティアから成るグローバルネットワークです。様々な事業や専門職務のリーダーであるロータリーの会員は、世界中で人道的奉仕活動を行い、職業における高い倫理規範を奨励し、国際親善と平和を築くために尽力しています。非識字、疾病、飢餓、貧困、きれいな水の不足、環境問題といった課題に取り組むため、世界で33000を超えるクラブが様々な活動を展開しています。

ROTARY INTERNATIONAL <http://www.rotary.org/ja/Pages/rdefault.aspx>



人類に奉仕する
ロータリー

2016-17年度
国際ロータリーテーマ

2016-17年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

2016-17年度 地区ガバナー
庄司 尚史



〒684-0033 境港市上道町 3147

TEL(0859)44-2690 FAX(0859)44-2650

E-mail: shoji-2690@tiara.ocn.ne.jp